

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター☆

2010年2月1日 第24号



～主な記事～

- ◇ 祝・群馬県がん対策推進条例 可決・制定されました
(可決・制定されるまでをお知らせします)

☆群馬県がん対策向上 新たな一步を踏み出しました☆ 「群馬県がん対策推進条例」県議会において可決・制定

平成22年12月16日、群馬県議会本会議において、「群馬県がん対策推進条例」が全会一致で可決となり、条例が制定されることとなりました。

がん対策推進条例は私たち患者会をはじめ、医療関係者、行政の皆さんと連携して県内のがん医療に取り組む重要な礎となります。

この記念すべき日、がん連協から本田会長、企画委員会の今井さん、篠原さん、根岸さん、運営委員の狩野先生が、可決の瞬間に立ち会いました。



県議会にて

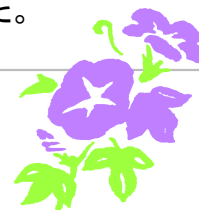
条例が可決となった瞬間を見届けていただいた会長、今井さん、狩野先生、篠原さん、根岸さん。
お手製の垂れ幕で制定をお祝いしてくれました。

「群馬県がん対策推進条例」県議会において可決・制定 ②

群馬県議会では、平成22年5月に「がん対策推進特別委員会」を設置して議員発議による条例制定を目指し、活動を進めてきました。

6月の後半になると、群馬県議会事務局から群馬県がん患者団体連絡協議会を通して県内患者会にアンケート協力依頼がありました。

がん連協の構成団体は丁寧に、それぞれの現状に即した思いを書き綴り、提出した内容に基づいて、7月30日、がん対策推進特別委員会のみなさんが県内視察を実施した際、群馬県健康づくり財団と群馬県立がんセンターにおいて、患者会との意見交換が行われました。健康づくり財団には、ひまわりの会・生葉の会・群馬ホスピスケア研究会・あけぼの群馬・笑みの会・1. 2の3で温泉に入る会ぐんま・ポピーの会・群馬あかぎ互療会・伊勢崎ひまわりの会から代表者と群馬がん看護研究会の狩野先生がまとめ役で参加しました。がんセンターには群鈴会・ひまわりの会東毛支部の代表がそれぞれ参加し、患者会の活動や現状、今後の要望などを述べました。



県内視察の意見交換会にて
熱心に語る患者会の意見を県議会特別
委員会のみなさんに伝えました。

この間、がん対策推進特別委員会のみなさんは、県外視察なども行い、がんサロンの先進県、島根や他に静岡県などを訪れ、がん対策について調査されました。

がん連協は条例制定に向けて、役員会と企画委員会で患者会の要望11項目を入れた要望書を作成し、10月29日、群馬県議会 関根くにお議長に提出しました。(本田会長、一柳副会長、土屋副会長が訪問)議長とは和やかなひとときを過ごし、要望についても特別委員会に伝えていくと話して下さいました。



県議会 関根くにお議長と本田会長
条例制定にあたり、要望書を提出しました。
患者会の思いが詰まった要望です。



関根議長と記念写真
和やかな会談後、特別応接室にご案内い
ただきました。

「群馬県がん対策推進条例」県議会において可決・制定 ③

こうして特別委員会において条例案が作成され、11月議会に議案を提出。12月16日全会一致で可決され、12月24日に公布されました。条例としては珍しい前文がありますが、これは議会の強い思いが込められている証でもあります。

今回、群馬県がん対策推進条例が各方面の協力によって作られたことは、患者会や今後の患者会活動にとって頼もしく、心強いものです。アンケートや意見交換会にご協力いただいた皆さん、要望書を練り上げていただいた役員会、企画委員の皆さん、ありがとうございました。

【情報をお待ちしています】

ニュースレターでは、会員の皆様からの情報を募集しています。各会主催の講演会・研修会、またはがんサロン訪問記、体験談、活動報告など幅広く掲載したいと考えています。

いろいろな行事に参加される際は、ぜひ感想をお寄せ下さい。



【事務局からのお知らせ】

当協議会設立当初から事務局でお世話になっていた、群馬県健康づくり財団 総務部長の下村が異動のため、平成22年12月から事務局を離れることになりました。

これまで各行事などで皆さんとご一緒したり親睦を深めることができました。

事務局員としては何でも相談し、この3年半の間、がん連協の基礎固めをしていったので心細くはありませんが、今後、なお一層、患者会活動が盛り上がるよう努力をしていきますので、ご協力をお願いします。

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話 027-269-7811
FAX 027-269-8928
E-mail m-araki@gunma-hf.jp



編集後記

毎年、日本音楽コンクールのドキュメントを見るのが楽しみです。友人が、今年のピアノ部門は最高だということで確認したところ、本当に最高で、1位になった方の今後に注目していきたいと思いつつ、自分も、今年は練習を怠らず少しは前に進みたいと決意しました。本年もよろしく願います。

編集担当：事務局 荒木美保